

授業科目名・形態	公衆衛生看護学実習Ⅱ 実習	必修・選択の別	選択	単位数	3
科目担当者氏名	藤田 碧・川村 泰子・下園 美保子	実務経験の有無	有	開講期	4年前期

【授業の主題】

保健行政機関における個人・家族・コミュニティを対象とした公衆衛生看護活動の実践に参加し、支援体制の構築や地域の健康課題・地域特性を踏まえた公衆衛生看護活動など公衆衛生看護活動の展開について、経験を通じて学ぶ。

広域的・専門的な保健活動の拠点である保健所と、住民に身近な保健サービスを提供する市町村保健部門の役割を学ぶ。健康危機管理を含めた公衆衛生活動基盤や包括的な支援体制構築について理解し、公共政策として公衆衛生看護が提供される意義を考察することを通じ、保健師として基本的な知識・支援技術および支援姿勢を習得する。

【到達目標】

1. 保健所と市町村保健部門の組織体制、役割・機能について説明できる。
2. 様々な健康段階にある個人・家族・集団の健康課題を解決するための支援について説明できる。
3. 地域の健康課題への改善策としての保健事業・保健計画等を理解し、地域の社会資源を活用し住民とともに地域の健康課題を解決する公衆衛生看護の取り組みについて説明できる。
4. 日常的な公衆衛生看護を実践するうえでの管理的な活動について理解することができる。
5. 地域における健康危機管理への対応を理解することができる。
6. 公衆衛生看護の基盤整備の意義を考察し、保健師の役割や思考技術・支援技術・支援姿勢について考察できる。

【授業計画・内容】

1. 実習概要
実習オリエンテーションで提示する（詳細は実習要項を参照）
2. 実習施設
秋田県内の県保健所（4か所）と県保健所管内の市町村（4か所）

【授業実施方法】

臨地実習

【授業準備】

事前学習課題を調べて提出する。

実習開始前に、実習施設の健康課題から健康教育・健康学習の企画書・指導案を作成する。

【主な関連する科目】

「公衆衛生学」「保健医療福祉行政論」「公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「公衆衛生看護管理論」等の公衆衛生看護学科目、関連する専門基礎科目全て。

【教科書等】

これまでの公衆衛生看護学関連そのほかで使用した教科書および配布資料、提示資料や実習施設について収集した資料などを活用する。

【参考文献】

適宜紹介

【成績評価方法】

事前学習課題（10%）、実習内容・実習記録・実習指導者の評価（90%）を総合して評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政保健師経験のある教員が事前学習や実習地の巡回を担当し、今までの学びを体験的に学び習得できるよう指導します。

【学生へのメッセージ】

実習施設において、保健師活動を実際に学ぶことができる貴重な実習です。これまで学内で学んだ知識や技術を活用して、各自が実習目標を持って、主体的および意欲的な姿勢で実習に臨みましょう。